

**2019（令和元）年度
法人・事業所 事業報告書**

社会福祉法人 八千代市身体障害者福祉会

2020（令和2）年5月

目次

I. はじめに	1
II. 法人の理念	2
III. 本会事業の目的	3
IV. 法人本部の本年度事業報告	4
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. 財務管理実績	
V. 地域生活支援事業及び相談支援事業の本年度事業報告	8
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. 人材育成実績	
6. サービス管理実績	
VI. 障害者就労支援事業の本年度事業報告	15
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. サービス管理実績	
6. 利用者の動向	
7. 財務管理実績	
VII. 収益事業の本年度事業報告	23
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 財務管理実績	

I. はじめに

障害福祉サービスの報酬改定により就労系の報酬単価が減額となり、このまま漫然としていては、事業展開に大きな影響を与えかねない状況が生じることが予想され、また、本会の事業利用者の障害の重度化や高齢化による他の福祉サービスへの転出が始まっており、それぞれ新たな事業の取組みが喫緊の課題となっていることから、今年度の目標テーマを「新しい事業への挑戦」として、前年度から引き続きの目標課題としている財政基盤の安定化と自主財源の確保に向けて、まずは、従来の補助金ありきの運営から脱却するための体質改善を図ることとしました。

具体的には、就労支援事業については、自主財源の確保なしに事業の継続は見込めないことから、利用者の安定的確保に向けて利用者の入退所の動向を注視し、会議等を通じて利用者数の増加から発生する様々な課題を改めて職員間にて共有し、利用者支援が損なわれることのないよう課題解決に向けた取組みを実施すること。地域生活支援事業のうち事業拡大の余地がある同行援護事業について基準該当事業所から指定事業所への移行を目指すこと。また、相談支援事業については、人材の確保と身体障害者相談員等他の社会資源との連携等不足するマンパワーの充足策について具体化を図ることをそれぞれの事業の主たる取組みとしましたが、十分な成果が得られていないため次年度の継続課題としています。

社会福祉基礎構造改革を機に障害者を取り巻く状況は一変し、本会が永続的に行ってきた事業についても、旧態依然のまま事業を行っていくことについては些か疑問に感じているところでもあり、現状維持は後退を意味するとの信念から、現状維持からの脱却を試行する一年とし、各々の事業を利用する方がそこに何を期待しているのか、今行っている事業に於いて何が不足しているのか、それを受けて何が出来るのかをしっかりと検証することによって、新しい事業を創造し提案する力を追求する1年としました。

以上

2020（令和2）年3月

社会福祉法人
八千代市身体障害者福祉会

Ⅱ. 法人の理念

2000（平成12）年に制定した福祉会・はばたき職業センター5つの誓いを法人の理念として取り組みました。

・福祉会・はばたき職業センター5つの誓い

（支え合いと連帯）

- ・私たちは、一人はみんなのためにみんなは一人のために働きます。

（生きがいと可能性の追及）

- ・私たちは、どのような環境のもとでもその人らしい生き方を認め可能性を信じその能力を育む努力を続けます。

（心豊かな社会の創造）

- ・私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。

（開拓者としての心得）

- ・私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。

（幸福の追求と社会貢献）

- ・私たちは、生命の尊さ、個人の幸せを求めつつ社会に貢献することをめざします。

Ⅲ. 本会事業の目的

社会福祉法に定める第2種社会福祉事業のうち障害者総合支援法に基づく事業及び身体障害者福祉法に基づく事業並びに公益を目的とする事業を積極的に展開しました。

1. 法人本部

各事業を統括する。

- ・ 第2種社会福祉事業
- ・ 公益事業
- ・ 収益事業

2. 地域生活支援事業（第2種社会福祉事業及び公益事業）

きらめき支援センター

（事業の目的）

身体障害者の自助自立を旨とし、八千代市からの受託事業及び本会自主事業を通じ、身体障害者の社会参加、地域福祉の向上を図る。

（事業内容）

- ・ 受託事業
- ・ 給付費事業
- ・ 自主事業

3. 相談支援事業（第2種社会福祉事業）

相談支援事業所 きらめき支援センター

（事業の目的）

サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を行う。

（事業の内容）

- ・ 特定相談支援事業
- ・ 障害児相談支援事業

4. 障害者就労支援事業（第2種社会福祉事業）

障害福祉サービス事業所 はばたき職業センター

（事業の目的）

利用者が自立した生活及びノーマライゼーションを推進するため職業を通して障害者の社会参加と働く権利の向上を目指し、利用者個々の必要とするサービスの提供を行う。

（事業の内容）

- ・ 就労継続支援B型事業
- ・ 就労移行支援事業
- ・ 就労定着支援事業（新規）

5. 収益事業

（事業目的）

本会地域生活支援事業及び障害者就労支援事業を安定的かつ効果的に行うために、自主的にその財政基盤の強化を図る。

（事業の内容）

- ・ 自動販売機設置事業
- ・ 駐車場管理事業
- ・ 売店運営事業

IV. 法人本部の本年度事業報告

1. 概要

身体障害者の自助自立を旨として、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り地域福祉の推進に努めました。また、情報公開に努め法人の経営及び財務状況等の透明化を推進するとともに事業の様子をホームページに掲載する等情報提供し啓発と活性化を図りました。

2. 事業内容

種別	事業	内容
第2種社会福祉事業	・障害福祉サービス事業の経営	・障害福祉サービス事業所 はばたき職業センター
	・移動支援事業 ・手話通訳事業	・視覚障害者移動支援、同行援護事業 ・手話通訳設置事業 ・手話通訳者等派遣事業
	・相談支援事業	・特定相談支援事業 ・障害児相談支援事業
公益事業	・車椅子貸し出し事業	・車椅子貸し出し事業
	・リフト付バス運行事業	・リフト付バス運行事業
	・身体障害者スポーツ大会等スポーツの振興及び身体障害者の地域交流事業	・千葉県障害者スポーツ大会 ・八千代市身体障害者スポーツ大会 ・輝く未来会（在宅重度障害者の交流活動会）
	・市民向け各種講座の開催事業	・手話奉仕員養成講座等市民向け講座の開催
収益事業	・市民会館内売店運営 ・自動販売機設置事業 ・駐車場管理事業	

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内容
第1回理事会	令和元年6月4日	報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について ①H30年度下半期事業報告について ②H30年度下半期決算報告について ③H30年度内部監査の状況について 2. 社会福祉充実残額について 決議事項 1. 定款の変更について 2. H30年度事業報告（案）について 3. H30年度決算（案）について 4. 役員選任候補者の推薦について 5. 評議員会の招集について 6. 就業規則の改正（案）について

会議名	実施日	内 容
		7. はばたき職業センター運営規程の改正（案）について 8. 顧問の選任について
第2回理事会	令和元年6月24日	決議事項 1. 理事長の選定について 2. 役員等の費用弁償費等に関する規程の改正（案）について
第3回理事会	令和元年12月6日	決議事項 1. R元年度資金収支補正予算（案）について 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について ①理事長の専決について ②R元年度上半期事業報告について ③R元年度上半期決算報告について ④R元年度内部監査の状況について
第4回理事会	令和2年3月23日	決議事項 1. R元年度収支補正予算（案）について 2. R2年度事業計画（案）について 3. R2年度収支予算（案）について 4. 職員の再雇用に関する規程（案）について 5. はばたき職業センター施設外就労規程（案）について 6. 経理規程の改正（案）について 7. 給与規程の改正（案）について 8. 嘱託職員取扱要綱の改正（案）について 9. パートタイム職員 就業規則の改正（案）について 10. 臨時職員取扱要綱の廃止について 11. はばたき職業センター（就労移行支援及び就労継続支援B型）運営規程の改正（案）について 報告事項 1. 本会理事の逝去に伴う理事の補充について 2. 県実地指導の結果について
臨時評議員会	平成31年4月3日	決議事項 1. 定款の変更について 報告事項 1. H30年度社会福祉法人に対する指導監査の結果について

会議名	実施日	内 容
定時評議員会	令和元年6月24日	決議事項 1. H30年度収支決算（案）について 2. 定款の変更について 3. 役員及び評議員の報酬等に関する規程（案）について 4. 役員の選任について 報告事項 1. H30年度事業報告について 2. 社会福祉充実残額について
評議員選任・解任委員会	平成31年4月3日	決議事項 1. 評議員の選任について
事業間連絡会議	毎月	・事業間の連携 ・各事業の進捗状況の確認 ・各事業の課題の共有 ・会議内容等の確認 ・その他

(2) 監査の実施

監査名	実施日	内 容
監事監査	令和元年5月23日	法人監事による会計及び事業監査
内部監査	平成31年4月19日 令和元年7月19日 令和元年10月21日 令和2年1月21日	内部監査員による会計監査

(3) 他団体との連携

会議名	実施日	内 容
市障害者自立支援協議会	全3回	・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の中間評価意見提示 ・その他
市障害者差別解消地域協議会	全2回	・差別解消事例パンフレットの作成 ・その他
福祉ネットワーク会議	全3回	・「友生フェスタ実行委員会」報告 ・その他

4. 人事管理実績

資格名	内 容
社会福祉士	2人
介護福祉士	2人
精神保健福祉士	0人
手話通訳士	1人
社会福祉主事	11人
訪問介護員2級	1人
サービス管理責任者	5人
相談支援専門員	7人
社会福祉士実習指導者	1人

5. 財務管理実績

(1) 賛助会員

摘 要	内 容
年度初	119件
新 規	20件
辞 退	16件
年度末	123件

V. 地域生活支援事業及び相談支援事業の本年度事業報告

1. 概要

(1) 地域生活支援事業

八千代市内に於ける障害当事者団体として設立した経過から、その役割に対する自覚と責任を持ち、八千代市からの受託事業、給付費事業及び本会自主事業を推進し、地域で生活する身体障害者の社会参加に向けた取り組みを行い、障害に対する啓発事業等を積極的に展開しました。また、障害のある人もない人も安心して共に暮らせる街になるよう他の社会資源と連携し事業を実施すると共に、本会が実施する催事等については障害当事者の意見をできる限り尊重して実施しました。同行援護事業については、財政基盤の安定化と利用者のニーズに応えられるよう質の高い事業所を目指し、基準該当事業所から指定事業所へ移行することを検討しましたが結論には至らず次年度引き続きの課題としています。

(2) 相談支援事業

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業については、地域に於いて障害福祉サービスの利用を必要とする障害者（3障害）及び難病者、障害児に対して積極的に計画相談の導入に努めると共に、対象者がその人らしく地域において日常生活及び社会生活を営むことが出来るよう医療・教育・福祉関係者との連携を図り、事業全体として質の高いサービスを提供するよう努めました。手話通訳事業に於いては、待望の「手話言語の理解及び普及並びに障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例」が市議会で全会一致で可決され、令和元年9月30日に施行されました。この条例は、手話は言語であることと、障害者のコミュニケーション手段の選択や利用する権利を尊重する理念条例であり、手話だけでなく広く障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関して理解を深め、住み慣れた地域で共に暮らし共に参加する地域社会を目指しているところから、引き続き行政や手話に関連する団体との学習会・意見交換会を通じて条例の啓発に積極的に関与していきたいと考えています。

(3) その他

年度後半の第4四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により市福祉センターや障害者センターが閉館措置となり、予定していた事業の一部が完結できず中止や延期を余儀なくされる事態となりました。また、同行援護事業や手話通訳事業に於いては、密接や対面での対応が避けられず従前どおりの支援が難しいことから、事業の縮小や制限を設け事業利用者とガイドヘルパー・派遣通訳者間の感染防止に努めました。

2. 事業内容

種 別	事 業
・ 受託事業	(1) 八千代市手話通訳設置事業 (2) 八千代市手話通訳者等派遣事業 (3) 千葉県障害者スポーツ大会 (4) 八千代市身体障害者スポーツ大会 (5) 手話奉仕員養成講座（入門・後期） (6) 視覚障害者サポート体験講座 (7) 車椅子等貸出事業 (8) 身体障害者の更生相談に応ずる事業
・ 給付費事業	(1) 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 (2) 同行援護事業

種 別	事 業
・ 自主事業	(1) 基本相談事業 (2) 福祉車両運行事業 (3) 一泊親睦旅行 (4) とっておきの福祉まつり (5) とっておきの作品展 (6) 新年顔合わせ (7) 日帰り旅行 (8) 初級手話講習・手話にふれよう (9) 書道講座 (10) とっておきのミニ講座 (11) 地区懇談会 (12) 笑顔のつどい (13) 輝く未来会 (14) 機関紙「はばたき」の発行

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内 容
相談支援・地域生活支援事業会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の連携 実施予定事業の周知 各事業の現況確認 その他
サービス等利用計画作成会議・モニタリング会議	全53回	<ul style="list-style-type: none"> サービス等利用計画の作成 モニタリングの実施 利用者の現況確認 その他
機関紙「はばたき」編集企画会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> 機関紙の編集企画 その他
派遣通訳者会議	11回(3月除く)	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者派遣件数報告 事例検討 その他
派遣学習会	11回(3月除く)	<ul style="list-style-type: none"> 手話技術の取得 制度施策学習 その他
ガイドヘルパー会議	令和元年7月12日 令和元年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> 事業利用状況の確認 ヒヤリハット その他
福祉車両運行事業会議	令和元7月31日 令和2年2月6日	<ul style="list-style-type: none"> 安全運転管理者講習の報告 安全確保の徹底 その他
催事企画委員会	11回(3月除く)	<ul style="list-style-type: none"> 既存催事や講座の検討 その他
八千代市身体障害者スポーツ大会実行委員会	全11回	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会形式による企画・準備運営 その他

(2) 外部研修への参加

研修名	実施日	内 容
千葉県専任設置手話通訳者会議研修会	令和元年6月5日	(社福) 千葉聴覚障害者協会 相談支援つなぎについて
千葉県登録手話通訳者研修	令和元年10月9日	(社福) 千葉聴覚障害者協会 通訳者に求められる知識
千葉県専任設置手話通訳者会議研修会	令和元年10月2日 令和2年2月5日	(社福) 千葉聴覚障害者協会 働き方改革と手話設置通訳者 (社福) 千葉聴覚障害者協会 ろう高齢者支援、障害福祉サービスと 介護保険の連携
関東ろうあ者相談員連絡会研修会	令和2年2月28日	関東ろうあ相談員連絡会 相談員の質・福祉専門職としての相談 業務

4. 人事管理実績

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	0名
内 訳	事務局長 1名

○地域生活支援事業

摘 要	内 容
年度初	3名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	3名
内 訳	課 長 1名 主 査 1名 サービス提供責任者 1名 (常勤換算0.4)

○相談支援事業

摘 要	内 容
年度初	4名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	4名
内 訳	相談支援専門員 2名 (常勤2) 聴覚障害者相談員 1名 専任手話通訳者 1名

5. 人材育成実績

(1) 手話通訳者等派遣事業

摘要	内容
年度初	17名
新規登録	0名
登録辞退	0名
年度末	17名
内 訳	派遣手話通訳者等

(2) 同行援護支援事業

摘要	内容
年度初	20名
新規登録	3名
登録辞退	1名
年度末	22名
内 訳	ガイドヘルパー

(3) 福祉車両運行事業

摘要	内容
年度初	5名
新規登録	2名
登録辞退	0名
年度末	7名
内 訳	運転手

6. サービス管理実績

○受託事業

(1) 手話通訳設置事業

摘要	内容
相談	608件
内 訳	手話通訳 580件 要約筆記 28件
専任業務	570件
内 訳	手話通訳 566件 要約筆記 4件
通訳業務	836件
内 訳	手話通訳 755件 要約筆記 81件

(2) 手話通訳者等派遣事業

摘要	内容
派遣	665件
内 訳	手話通訳 530件 要約筆記 135件

(3) 催事の開催

催事名	実施日	内容
県障害者スポーツ大会	令和元年5月日 ～4週間	選手17名 総勢49名
八千代市身体障害者 スポーツ大会	令和元年9月28日	総勢397名

(4) 講座の開催

催事名	実施日	内容
手話奉仕員養成講座 (入門課程・後期)	全27回	継続受講 21名 (修了 20名)
視覚障害者サポート体験 講座	全7回 (5回)	受講者 7名

(5) 車椅子等貸出事業

摘要	内容
貸出	65件

○給付費事業

(1) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

摘要	内容
サービス等利用計画 (案)の作成	障害者 111件 障害児 30件
モニタリング計画	障害者 174件 障害児 36件

摘要	内容
年度初	98名
新規契約	21名
内 訳	身体障害者 10名 知的障害者 3名 精神障害者 1名 重複障害者 0名 難病 0名 障害児 36名
契約解除	13名
解除理由	就職 2名 転居 3名 介護保険移行 3名 その他 5名
年度末	106名
内 訳	身体障害者 58名 知的障害者 6名 精神障害者 4名 重複障害 19名 難病 0名 障害児 19名

(2) 同行援護支援事業

摘 要	内 容
年度初	35名
新規利用	8名
利用辞退	2名
年度末	41名

摘 要	内 容
派 遣	2,317件
のべ利用者	365名
派遣時間	8,250時間

○自主事業

(1) 基本相談支援事業

摘 要	内 容
生活に関わる相談	14件
サービスに関わる相談	10件
制度・手続に関わる相談	8件
労働に関わる相談	3件
その他	24件

(2) 福祉車両運行事業

摘 要	内 容
年度初	20名
新規利用	11名
利用辞退	8名
年度末	23名

摘 要	内 容
稼 働	89件
回 数	110回
のべ利用者	153名
タクシー券利用	83件

(3) 催事の開催

催事名	実施日	内 容
一泊親睦旅行	令和元年10月28日 ～10月29日	茨城県日立市方面 59名
とっておきの福祉まつり	令和元年11月16日	フルルガーデン八千代 288名
とっておきの作品展	令和元年12月3日 ～12月6日	市役所1Fロビー 44点出品
新年顔合わせ	令和2年3月6日	市保健センター 42名
続とっておきの作品展	令和元年7月26日 ～7月28日	八千代市民ギャラリー 23点出品
日帰り旅行	令和元年6月5日	埼玉県大宮市 鉄道博物館 54名

(4) 講座の開催

催事名	実施日	内 容
初級手話講座・手話にふれよう	全12回	受講 19名(修了 18名)
書道講座	毎月(10回)	16名
とっておきのミニ講座	令和元年10月10日	「障害者の便利グッズ」42名

(5) 懇談会の開催

懇談会名	実施日	内 容
米本団地懇談会	全3回	
村上団地懇談会	全3回	
高津地区懇談会	全4回	
米本団地障害者サポーターの会	全4回	情報交換他
八千代さくら会	全2回	内部障害者、オストミー懇談会

(6) 交流活動

催事名	開催日	内 容
笑顔のつどい	毎月(10回)	・身障相談日に合わせて開催 ・障害者間の情報交換、交流活動
輝く未来会	月2回(3月除く)	・在宅重度障害者の交流活動
ボランティア交流会	令和元年9月4日	10名

(7) 情報の提供

名 称	実施日	内 容
機関紙「はばたき」発行	毎月16日	発行部数 15,771部 (月発行部数 1,314部) 配布部数 290部 (市内支所・公民館等 35か所)

VI. 障害者就労支援事業の本年度事業報告

1. 概要

(1) 就労継続支援B型事業

今年度も「働く」ことを通して生活全般を指導・支援していくことを強く意識して工賃額の維持・向上を目指しました。各科の所属人数が数年前と比べるとかなり増加してきていますが、更に数名ずつ増やさなければならぬ状況にあります。新規利用契約を増やすためには、利用対象者に今以上に柔軟な対応が求められますが、生産性を求めることが厳しい対象者も増えてくることが予想されるため、利用人数を増やすのと同時に売上げも上げていかなければ報酬に直結する平均工賃額が維持できず難しい面があります。

新規利用者の増加に対応するため、新規作業科目検討委員会を組織し検討を重ねてきましたが抜本的な解決には至っていません。しかし、職員間の共通理解を図ることが出来たことは大きな前進でもあります。利用者の増加は、新規利用者と新規顧客の両方を追い求めることになり非常に難しい舵取りとなりますが、次年度は事業検討委員会を新たに組織し、具体的な検討を進める等一人でも多くの障害者が施設で「働く」ことによって充実した生活を送ることが出来るように工夫しながら事業を展開していきたいと思っております。

(2) 就労移行支援事業

日常的に清掃訓練・基礎学習訓練・軽作業訓練・企業実習・企業面接・ハローワーク同行支援等を中心に支援を行いました。前年度に2名の就職者を輩出して以降、1名の利用が続きましたが、次年度早々に2名の利用契約を予定しており、4月からは3名の利用となる予定です。これは、前年度の反省を生かしてB型事業からの就職希望者を他事業所ではなく、当事業所の就労移行支援を利用してくれる見込みとなった成果であり、これによりB型事業に定員の空きができることにもつながります。この流れを定着させるためにも、引き続き準備が整った利用者については、B型事業から積極的なアプローチをして就職への意識づけをしていきたいと思っております。新型コロナウイルスの影響で企業の新規採用が不透明な状況がしばらく続きそうですが、チャンスが来るその日のために引き続き支援を行っていききたいと思っております。

2. 事業内容

事業	内容	定員
就労継続支援B型	(1) 就労継続支援B型計画の作成 (2) 食事の提供 (3) 身体等の介護 (4) 就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練 (5) 就労の機会の提供及び生産活動 (6) 実習先企業等の紹介 (7) 求職活動支援 (8) 職場定着支援 (9) 生活相談 (10) 健康管理 (11) 訪問支援 (12) 施設外支援 (13) 施設外就労 (14) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜 (15) (2) から (13) に附帯するその他必要な介護・訓練・支援・相談・助言	30名

事業	内容	定員
就労移行支援	(1) 就労移行支援計画の作成 (2) 食事の提供 (3) 就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練 (4) 身体等の介護 (5) 生産活動 (6) 実習先企業等の紹介 (7) 求職活動支援 (8) 職場定着支援 (9) 生活相談 (10) 健康管理 (11) 訪問支援 (12) 施設外支援 (13) 施設外就労 (14) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜 (15) (2) から (13) に附帯するその他必要な介護・訓練・支援・相談・助言	6名
就労定着支援	通常の事業所に新たに雇用された障害者に対して、当該通常の事業所での就労の継続を図るために必要な当該通常の事業所の事業主、障害福祉サービス事業者等、医療機関その他の者との連絡調整その他の支援を適切かつ効果的に行う。	—

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内容
障害者就労支援事業会議	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員間の連携 ・ サービス内容の確認 ・ 工賃向上計画の作成 ・ 利用者や待機者の動向把握 ・ 各科の現況確認 ・ その他
個別支援計画会議	令和元年6月13日 ～6月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所利用目的の確認 ・ 総合的支援の方針の確認 ・ 目標到達度の確認 ・ その他
モニタリング会議	令和2年1月30日 ～1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援計画の修正、見直し ・ 利用者の現況確認 ・ その他
評定委員会	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の作業評価 ・ 利用者の現況確認 ・ 当該月の収支報告 ・ 作業工賃支払額の決定 ・ その他

会議名	実施日	内 容
ケース診断会議	全12回	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用契約ケースの報告 ・利用契約解除ケースの報告 ・問題を抱えたケースの経過報告 ・実習受入ケースの報告 ・その他
製造会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・前月の各科作業状況の報告、反省 ・当月、次月の作業の受注状況の報告 ・当該月の収支報告 ・その他
施設給食会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・次月度献立確認 ・嗜好確認 ・その他
防火安全衛生推進委員会	全4回	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内危険個所の点検 ・防火安全衛生パトロールの実施報告 ・防火安全衛生研修の実施 ・その他

(2) 苦情解決

催事名	実施日	内 容
第3者委員相談日	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付 ・苦情解決 ・苦情案件の公開 ・再発防止

(3) 第3者委員への申し入れ

摘 要	内 容
相談申出	36件
苦情申出	0件

(4) 外部研修への参加

会議名	開催日	内 容
関東社会就労センター協議会研究大会 in 群馬	令和元年6月28日 ～6月29日	関東社会就労センター協議会 就労支援施設研修
相談支援専門員現任研修	令和元年10月2日及び 令和元年10月11日	千葉県 資格取得研修
虐待防止研修	令和元年10月29日	千葉県 制度研修

4. 人事管理実績

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	0名
内 訳	施設長・サビ管 1名 (常勤1)

○就労継続支援B型事業

摘 要	内 容
年度初	7名
採 用	職業指導員 1名
退 職	職業指導員 1名
年度末	7名
内 訳	職業指導員 5名 (常勤2・常勤換算1.2) 生活支援員 1名 目標工賃達成指導員 1名

○就労移行支援事業

摘 要	内 容
年度初	3名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	3名
内 訳	就労支援員 1名 (常勤1) 職業指導員 1名 (常勤1) 生活支援員 1名 (常勤換算0.2)

○就労定着支援

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	1名
内 訳	就労定着支援員 1名 (常勤換算0.2)

5. サービス管理実績

(1) 生産活動の提供

①版下科・印刷科

印刷業界全体の売上げが低迷している中、引き続き発注してくださる顧客を大切にしながら、良品製造ときめ細かい対応を心掛けて事業を展開した結果、昨年と比較すると売上げは減少しているものの、利益は約143万円増加しました。引き続き外注加工を上手く活用しながらも、自主生産のできる「軽印刷物」に的を絞って営業を展開することにより、収益性の高い物件の安定的な確保を目指していきます。機械設備の老朽化も進んでいるので適切な時期をみて少しでも多くの利用者が携われる設備を計画的に導入していく必要があります。デジタル化（オンデマンド印刷）については引き続きの検討課題としています。

②受注生産科

取引先と調整しながら安定的な作業提供に努め、内容によっては他科との協力を図りながら売上向上を目指しました。前年度比で若干減収益でしたが、利用者が積極性を持って作業に従事出来たことに大きな意義があります。今後も受注生産科を希望する利用者は増加傾向にある

ため、施設の利用目的を明確に把握して支援を展開していく必要があります。また、既存路線にこだわらず斬新なアイデアを実行・展開することによって、所属利用者が今以上に施設への魅力を感じて頂けるようにしたいと考えています。

③園芸科

定期的な販売活動に加え各種イベントへの積極的な参加を行いました。草花・野菜等 年間の生産計画を立てて、生産したものはなるべく売り切るように意識して取り組んだ結果、経費率を大幅に抑えることができ、前年度比で利益が約20万円増収につながりました。定着した福祉センター前の直売も利用者に任せることを継続して行っています。地域販売活動では、引き続き「緑が丘イオン」・「京成八千代台ユアエルム」等に協力して頂き販売の機会を増やすことが出来ました。園芸科の利用人数は、過去数年をみても平均的に多く今後も希望者が増えることが予想されます。現在はパートの職業指導員を園芸科に2名配属し支援の充実を図っていますが、草花や野菜の育成・販売、植え込み業務の他に「除草作業」「会社や個人宅の庭の手入れ」等にも作業販路を拡大していくことにより、利用者の作業確保・売上げ向上を目指していくことが可能かどうか検証していきたい思います。

(2) 施設見学者の受入れ

摘 要	内 容
見学者	125名

(3) 健康管理の実施

催事名	実施日	内 容
利用者健康診断	令和元年6月17日 令和元年12月18日	嘱託医による健康診断
利用者歯科衛生相談	令和元年8月7日	市健康管理課歯科衛生士による衛生相談
利用者胸部X線撮影	令和元年11月13日 令和2年3月29日	新東京病院検診車での検査

(4) 実習の受入れ

実習名	内 容
社会福祉相談援助実習	東京成徳大学・日本社会事業大学 2名・東京福祉専門学校
アセスメント実習	八千代特別支援学校 5名
施設研修	八千代リハビリテーション学院 40名
介護等体験	5名
福祉体験実習	阿蘇中 5名
職場体験実習	勝田台中・大和田中・萱田中 15名

(5) 防火訓練の実施

催事名	実施日	内 容
避難誘導訓練	令和元年7月23日 令和元年10月28日 令和2年1月16日	火災を想定した部分訓練
消火訓練	令和元年11月30日	水消火器による模擬消火訓練

(6) 家族との連携

催事名	実施日	内 容
家族連絡会	令和元年11月5日 ～11月15日	個別支援計画の説明 状況把握等

(7) 地域貢献活動の実施

催事名	実施日	内 容
はばたき感謝祭	令和元年5月5日 令和元年6月8日 令和元年10月12日 令和2年2月2日 令和2年3月20日	勝田台駅周辺清掃活動

(8) 行事の実施

行事名	実施日	内 容
花見会	平成31年4月1日	親睦
レクリエーション	令和元年9月23日	教養娯楽活動
クリスマス・もちつき会	令和元年12月27日	慰労
収穫祭	令和2年2月11日	家族との交流及び親睦

6. 利用者の動向

○就労継続支援B型事業

摘 要	内 容
年度初	32名
新規契約	6名
移行から継続B型へ変更	0名
継続B型から移行へ変更	0名
契約解除	5名
年度末	33名
のべ利用者数/日	375名
開所日数	250日
利用率	90.7%
平均利用者数/日	27.3名
一般就労	0名

摘 要	内 容			
利用者数	・定員	30名	・現員	33名
性別	・男	30名	・女	3名
居住地	・八千代市	22名	・印西市	1名
	・佐倉市	1名	・四街道市	1名
	・習志野市	4名	・我孫子市	1名
	・船橋市	1名		
年 齢	・18～19歳	1名	・50～59歳	6名
	・20～29歳	3名	・40～49歳	11名
	・30～39歳	9名	・60歳～	3名
	平均年齢 47.6歳			
利用年数	・0～1年	7名	・15～20年	0名
	・1～5年	10名	・20～25年	1名
	・5～10年	9名	・25～30年	0名
	・10～15年	0名	・30年～	1名
	平均年数 7年 1月			

摘要	内容	
身体障害者	21名	
等級	・身体障害1級 7名 ・身体障害2級 4名 ・身体障害3級 2名	・身体障害4級 4名 ・身体障害5級 3名 ・身体障害6級 1名
区分	・四肢障害 0名 ・上肢障害 1名 ・下肢障害 3名 ・上下肢障害 11名	・体幹障害 0名 ・内部・言語障害 3名 ・四肢・内部障害 1名 ・聴覚障害 1名
知的障害者	3名	
等級	・療育A1 0名 ・療育A2 0名	・療育B1 3名 ・療育B2 0名
精神障害者	9名	
	・精神障害1級 2名 ・精神障害2級 3名	・精神障害3級 2名 ・自立支援医療 2名
所属科	・受注生産科 11名 ・版下科 3名	・印刷科 8名 ・園芸科 11名
他法他施策	・生活保護 8名	・介護保険 1名

○就労移行支援事業

摘要	内容
年度初	1名
新規契約	1名
継続B型から移行へ変更	0名
移行から継続B型へ変更	0名
契約解除	1名
年度末	0名
のべ利用者数/日	14名
開所日数	250日
利用率	19.7%
平均利用者数/日	1.2名
一般就労	0名

摘要	内容	
利用者数	・定員 6名	・現員 1名
性別	・男 1名	・女 0名
居住地	・八千代市 1名	
年齢	・18～19歳 0名	・40～49歳 1名
	・20～29歳 0名	・50～59歳 0名
	・30～39歳 0名	・60歳～ 0名
	平均年齢 45.0歳	
利用年数	・0～1年 1名	・2～3年 0名
	・1～2年 0名	
	平均年数 0年11か月	
等級	・身体障害1級 0名 ・身体障害2級 0名 ・身体障害3級 0名	・身体障害4級 0名 ・身体障害5級 0名 ・身体障害6級 0名

摘 要	内 容			
区 分	・四肢	0名	・体幹障害	0名
	・上肢障害	0名	・内部・言語障害	0名
	・下肢障害	0名	・聴覚障害	0名
	・上下肢障害	0名		
知的障害者	0名			
等 級	・療育A1	0名	・療育B1	0名
	・療育A2	0名	・療育B2	0名
精神障害	1名			
等 級	・精神障害1級	0名	・精神障害3級	1名
	・精神障害2級	0名	・自立支援医療	0名
他法他施策	・生活保護	0名	・介護保険	0名

○就労定着支援事業

摘 要	内 容	
対象者	(年度末)	3名

7. 財務管理実績

(1) 受注状況

摘 要	内 容
印 刷	511件
園 芸	213件
受注生産	38件

(2) 収支額

摘 要	収 入	支 出	差 額
印 刷	21,351,974円	13,716,899円	7,635,075円
園 芸	7,815,935円	3,028,201円	4,787,734円
受注生産	1,719,652円	186,781円	1,532,871円
その他	65,181円	—	65,181円
預金利息	882円	—	882円
合 計	30,953,624円	16,931,881円	14,021,743円

(3) 作業工賃

摘 要	就労継続支援B型	就労移行支援
工賃支払額	14,081,100円	456,251円
延べ利用者	330名	14名
平均支払額	42,670円	32,589円

Ⅶ. 収益事業の本年度事業報告

1. 概要

自己財源の確保を目途としてその収益を社会福祉事業または一定の公益事業に充てるための収益事業を展開しました。

2. 事業内容

事業
・ 市民会館内売店運営 ・ 自動販売機設置事業 ・ 駐車場管理事業

3. 財務管理実績

(1) 市民会館売店事業

摘要	内容
開店日	87日
売上収入	1,901,515円

(2) 自動販売機設置事業

摘要	内容
年度初	20台
新規契約	0名
契約解除	0名
年度末	20台
寄付金収入	2,342,342円

(3) 駐車場管理事業

摘要	内容
のべ契約	84台
駐車料収入	415,000円